

平成23、24、25年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B)

研究成果報告書

1. 課題番号

23380016

2. 研究課題名

わが国における文化的景観の多様性保全管理方策に関する研究

3. 研究組織

研究代表者 下村彰男 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授)

研究分担者 小野良平 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・准教授)

研究分担者 伊藤弘 (筑波大学・大学院人間総合科学研究科・准教授)

研究分担者 山本清龍 (岩手大学・農学部・准教授)

上記報告書より関係部分のみ抜粋

【資料提供：一般社団法人由布市まちづくり観光局】

(c) 協力金に対する支払意思と徴収、使途のあり方【問14～16】

ここでは、協力金に対する支払意思と徴収、使途のあり方の質問から回答を得た結果を示す。データは次頁以降に示す。協力金に対する支払意思の質問は、問14. 問14 Y. 問14 N. 協力金に対する支払意思、問14 NN. 反対する理由を設定した。協力金に対する徴収の質問は、問15. 徴収を設定した。協力金に対する使途のあり方の質問は、問16. 使途を設定した。

なお、問14の支払意思額の分析には、有効回答を別途検討した。

【問14 有効回答】

制度賛成者：300（有効回答数367の81.7%）

問14にて1つ以上賛成した人：270

問14 NNにて設定金額が高いため反対した人：30

制度反対者：67（有効回答数367の18.3%）

問14 NNにて設定金額以外で反対した人：67

・問1 4. 問1 4 Y. 問1 4 N. 協力金に対する支払意思：協力金制度を活用した支払について、制度賛成者は300（有効回答数367の81.7%）、制度反対者は67（有効回答数367の18.3%）である。制度賛成者に対して支払意思額を推定した結果は、中央値：763円、平均値：1,169円（裾切りなし）である。

■制度賛成者（n=300）の集計・分析結果

調査票				集計結果			
タイプ	T1	TU	TL	YY	YN	NY	NN
1	200	500	100	38	52	7	0
2	500	1000	200	16	29	19	3
3	1000	2000	500	4	36	28	8
4	2000	5000	1000	6	12	23	19

凡例

タイプ：1～4

T1：1回目の質問の提示金額

TU：1回目の質問に yes, 2回目の質問の提示金額

TL：1回目の質問に no, 2回目の質問の提示金額

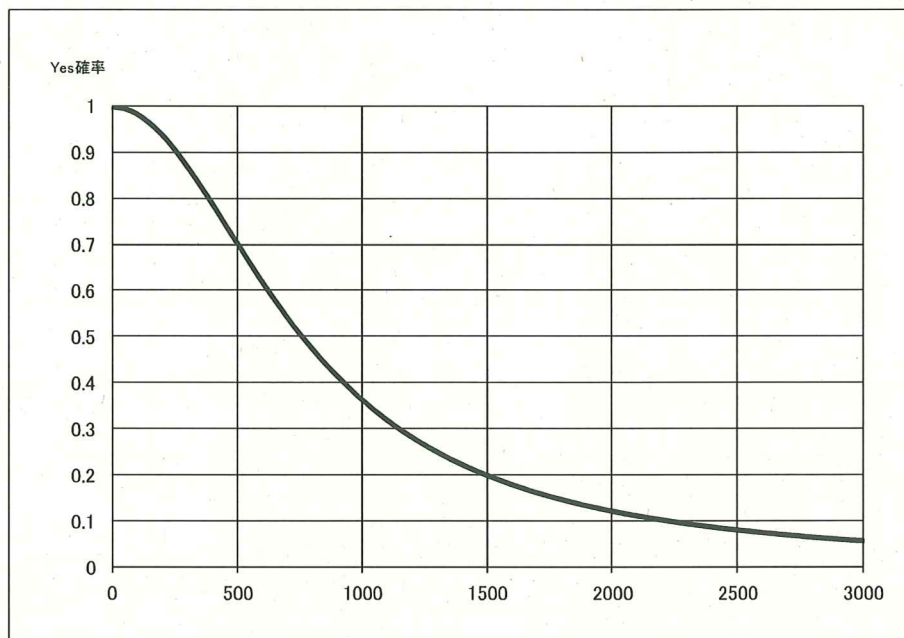
YY：1回目の質問に yes, 2回目の質問に yes と回答

YN：1回目の質問に yes, 2回目の質問に no と回答

NY：1回目の質問に no, 2回目の質問に yes と回答

NN(回答1)：1回目の質問に no, 2回目の質問に no と回答, 反対理由の質問に1（高くて払えない）と回答

推定 WTP 中央値：763円 平均値：1,169円（裾切りなし）1,069円（最大提示額で裾切り）

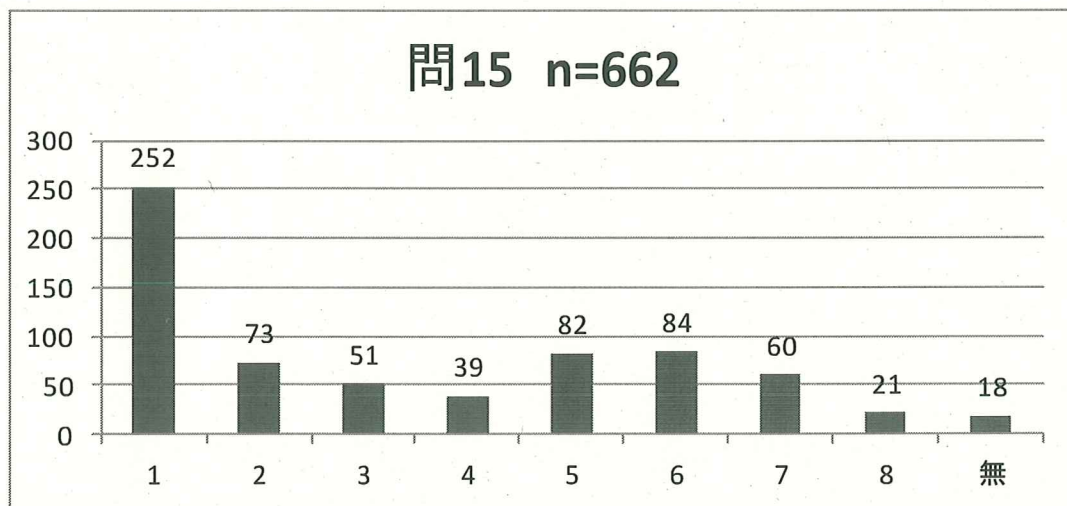


変数	係数	t 値	p 値	
constant	13.6096	14.974	0.000	***
ln(Bid)	-2.0507	-15.185	0.000	***
N	300			
対数尤度	-384.849			

・問15. 徴収：最も回答の多い選択肢は、「1. 旅館やホテルなどの「宿泊費」に加えて支払う」252である。続いて「5. 風景の改善に役立つ推奨商品を選んで「購入」する」82、「6. まちかどなどで「寄付」する」84の回答が多い傾向にある。

問15. 仮に、協力金を支払う場合、支払いやすい方法を教えてください（3つまで○）

1. 旅館やホテルなどの「宿泊費」に加えて支払う
2. 車やバイクなどの「駐車場費」に加えて支払う
3. 食品や民芸品などの「お土産代」に加えて支払う
4. 食事などの「飲食代」に加えて支払う
5. 風景の改善に役立つ推奨商品を選んで「購入」する
6. まちかどなどで「寄付」する
7. 「由布院らしい風景景基金」の会員になって「会費」を納める
8. その他（ ）



その他回答

- ・本当に地元の人が望んでいる町になっているのか疑問
- ・募金
- ・関所的場を設ける
- ・トイレ利用料
- ・入由布院税
- ・道の駅などの協力金箱
- ・公衆トイレ有料化
- ・1回寄付したことを明確に。何回も請求されたくない
- ・行政機関の設置（民意の反映が前提）
- ・宿泊した旅館で寄付。気持ちよく過ごせれば気持ちよく払える
- ・施設に box
- ・由布院の入場料
- ・お金を支払う都度課金
- ・入湯料に加える
- ・来た人に負担させるのは変

・問16. 使途：100サンプル以上の回答を得た選択肢は4つである。最も高い回答順に示すと下記のとおり。「3. 農地・草地の保全や田園風景の回復のための費用」249、「2. 煩雑な看板・電柱の除去やまちかどの修景のための費用」175、「1. ゴミ・尿尿等の処理のための費用」119、「4. 滞在・滞留をより豊かにするための施設整備のための費用」115。最も少ない選択肢は、「7. 調査・計画・ルール等の作成のための費用」35である。

問16. **仮に**、「由布院らしい風景基金」に集まったお金は、どのような使い道が適当だと思いますか。賛成できるものを教えてください（**3つまで**○）

※調査票は次ページ

テーマ	選択肢	具体例
負荷軽減	1. ゴミ・尿尿等の処理のための費用	・ゴミ等の回収 ・ゴミ等の処理
	2. 煩雑な看板・電柱の除去やまちかどの修景のための費用	・看板の除去 ・まちかどの修景
資源再生・整備	3. 農地・草地の保全や田園風景の回復のための費用	・野焼きの実施 ・田園風景の回復
	4. 滞在・滞留をより豊かにするための施設整備のための費用	・外湯の復活 ・周遊ルートの整備・修景
	5. 建物の撤去や土地の取得のための費用	・大規模施設の撤去 ・電柱のセットバック
情報発信	6. まちの特徴を伝える情報提供のための費用	・ホームページの開設・更新 ・マップの作成・更新
計画	7. 調査・計画・ルール等の作成のための費用	・自主的な指針の作成 ・景観シュミレーション調査の実施
基盤づくり	8. 人材の育成のための費用	・案内ガイド ・農作業支援者
	9. 方策を推進するための事務局の整備や運営のための費用	・事務局の整備 ・事務局の運営

